

# カトリック 仙台教区報

2002年2月20日 No.144

発行

カトリック仙台司教区

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-12

Tel (022) 222-7371 Fax(022)222-7378

編集責任者 田中丈夫

URL ; <http://sendai.catholic.jp/>

## 一八八殉教者列福

仙台教区 司教 溝部 脩

現在日本教会は一八八名の殉教者の列福を進めています。私はその運動初期から、歴史調査委員会の一員としてか

かわってきました。一八八名を選ぶにあたって、三つの主な理由がありました。その第一は、歴史的にしっかりとされていること。ついで、老若男女と幅を広くして、司祭、聖職者に限らないこと。最後は、日本全国を網羅することでした。

歴史的にしっかりとしていること。

例えば広瀬川の殉教は、一六二四年二月十八日から二十二日の間に行なわれた、これは疑えない事実です。確かな証言があり、信憑性がとても高い。その意味で、史料がしっかりとされている仙台的殉教者が今回取り上げられなかったのは、今になって考えると、実に残念です。余り人数を増やさないとということ

を交えたものであり、今回の列福運動にはふさわしいと判断したからでもありました。



樹のオーリーブ  
イタリアにて  
鷹達衛

歴史的にしっかりとしているという事は、思い込みからの殉教に熱狂的になることを避けるためでもあるのです。言い伝えや、迷信まがいのキリシタン崇敬と一線を引いています。これは決して歴史的史料があるものしか殉教がないといっているものではありません。多くの匿名の信者たちが、信仰のためになくなつたと私は確信しています。史料がはっきりしている殉教者たちは、その他の多くの信者たちの代表と考えられます。しかし、歴史的にはっきりして

と、米沢の殉教者老若男女

いても、必ずしも殉教とは言えません。殉教とは、イエス様を宣言して、そのことのために命を捧げる行為を指しています。これは歴史的な、政治的なことがらが複雑に絡んでいて、それらが殉教に至らしめたというものの見方に反対しています。広瀬川の殉教でも、伊達政宗の迷惑や、徳川家光の意向など種々の政治的な要因が絡んでいます。それでも、カルバリオ神父とその仲間が、あえてイエスというお方を信じるがために命を捧げたのです。全てを歴史的必然とする史観と異なっています。そこには、殉教者たちの確固とした意思表示があるのです。

ペトロかすい岐部神父などは、現代カトリック教会にとつて最高の証人として考えているので、列福の対象となりました。その熱意、その信念は現代の司祭への警鐘となります。

### 地方性を重んじたこと

カトリック教会とか、殉教者といいますが、どうしても長崎地方に偏りがちです。日本全体に広がっていた信者たちの状況は、長崎ほど知られていないという理由にもよります。しかし、信仰の証は日本全国に広がっていて、その血による証の種子は日本の全ての教区に受け継がれています。今回の列福を通して、日本教会全体に先人が歩んだ道を信者が潔く進むという決意を求めています。

老若男女を網羅すること  
現在まで列聖、列福されている殉教者は殆ど成人の男性でした。教会は男性によって占められている訳ではありません。また成人しているから成聖へと召されている訳でもありません。子供であっても十分殉教者であり、聖人であることを教会は主張してきました。これらを考えて、日本の殉教者の中でお年よりから子供まで、男性、女性を含めた殉教を選びました。この基準に合っているものとして、東北では米沢の殉教が選ばれました。といつても決して司祭、修道者はずした訳ではありません。

現代、また殉教を強調するより、弱くて、信仰を公言することを憚った人々に焦点をあてる傾向があります。それも一理以上のものでありますが、それでも弱さ、迷いに揺り動かされつつも、尚イエス・キリストへの信仰のために死を選んだ人達は称えられて然るべきです。私は仙台教区の中で殉教した人々をもっともつと顕彰したいと願っています。(4ページへ)

## 青森 大湊教会

カトリック未開拓といわれた  
下北半島に、ケベック宣教会に  
よって昭和二九年五月、現在の  
地に本州最北端の教会として誕  
生しました。

信徒の数は九八名。市内には  
二つのカトリック幼稚園を擁し  
ています。創立以来四八年の歴  
史の中では二人の司祭、三人の  
修道女が誕生しています。

現在は神父様の常駐しない教  
会となって二年になりますが、  
四月には神父様が常駐されると  
のことに信徒一同安堵の胸をな  
で下ろしています。

日曜日のミサの参加者は十五  
名・復活祭四〇名・クリスマス  
は七〇名前後の方々の参加があ  
りますが、高齢化と男性信徒が



少ないのが悩みの一つとなつて  
います。(大場)

## 岩手 花巻教会

当教会は、昭和三〇年九月に  
落成し、小林有方司教様が、献  
堂式を司式して以来、五〇周年  
が間近に迫っています。

この設立には、信者の大内手  
ヨ氏、及川節子氏等の数多くの  
方が貢献されています。

初代司祭は、スイス生まれの  
ゲーヴェレル神父で、同じく加  
美山恵子伝導婦、似内稔会長と

## 各地から

ともに四〇年以上も教会の発展  
に努められ、神父は、平成七年  
に七十七才で帰天、花巻の墓地  
に眠っています。

この間に、当教会から及川正  
神父、平賀徹夫神父そして板垣  
勤神父が輩出しています。

二代目神父は、同じスイス生  
まれツゲル神父で平成八年か  
ら現在に至っています。師は聖  
書研究家であり、東北、北海道  
から講師としてよく招かれて多  
忙であります。

平成一三年に、溝部脩司教様  
により、堅信式が久し振りに行

われ、若い信徒等十名が受堅す  
ることができました。祝賀会  
は、司教様のお話しや飛び入り  
の唱歌とで盛会で、司教様と信  
徒との間が、身近に感じるこ  
とができ、信徒の使命を再確認  
できました。(小田代)

## 宮城 仙台中央地区教会

『元寺小路教会のその後』  
皆様からの浄財献金により、

一九九三年(平成五年)七月二  
四日の献堂式で主に捧げられて  
から、はや九年を迎えておりま  
す。

その後この大聖  
堂で三名の司祭が  
叙階され(田中、  
小松、和野神父)

そして記憶に新しい溝部脩司教  
が大聖年の年、二〇〇〇年九月  
九日にこの大聖堂で叙階されま  
した。

またお別れとして、九六年十  
月に深沢豊治神父、九九年三月  
には斎藤石雄神父、本間重治神  
父を、その年の八月には元教区  
長小林有方司教を葬儀ミサでお  
送りしております。

仙台教区の典礼祭儀の中心とし  
てのカテドラル(司教座聖堂)  
を少しでも長く維持するため、  
教区本部事務局と小教区とによ

るセンター管理運営委員会が今  
までに二十回にわたり持たれ、  
建物の維持そして使い勝手のよ  
い会議室などの運営に努めてお  
ります。

なおカテドラルのため溝部司  
教のミサが多く、この説教集が  
ありますので希望の教会におあ  
げします。(千葉)

## 福島 原町教会

福島県の浜通り、仙台市とい  
わき市の間に位置した原町教会  
は、戦後間もなくドミニコ会に  
よって献堂され、エベール神父  
様とカテキスタ関とみ先生によ  
つて守られてきました。昨年二  
月、献堂五〇周年を迎え、着任  
されたばかりの溝部司教様をお  
迎えして、盛大に記念式典を行  
いました。今夏ご苦労の多かつ  
た関先生が亡くなられ、五〇年  
の間にあちこち傷んできた聖堂  
建物の修復事業と共に、わが教  
会も大きな節目を迎えたよう  
です。二年前東京神学院からパイ  
プオルガンを譲って頂き、オル  
ガンストの青田絹江さんによる  
コンサートも数回開催されまし  
た。エベール神父様亡き後、数  
多くの神父様のお世話になりな  
がら、現在は北仙台教会主任司  
祭のラトウール神父様が教会主

任です。クリスマスや復活祭に  
は、入りきれなくなりませんが、  
毎週ミサには二、三十人が集  
ます。一人一人が寄り添い、助  
け合い、働かないと倒れる教会  
です。この力のなさ、弱さ、貧  
しさが原町教会の力なのでしょう  
うか。(若原)

## 会津若松

ザベリオ学園小学校で出火

出火は、一月三十日(水)午  
後三時四〇分頃のことでした。  
子ども達は終礼を終えて帰り支  
度をほとんど済ませていました  
ので全員を無事避難させること  
ができました。火元のない所  
の出火でしたので原因は未だに  
判明していません。

おかげさまで小学校一・二年  
生は幼稚園で、三年生から六年  
生までは中・高校舎の一部を借  
りて二月五日(火)から授業を  
再開致しました。明るく元気な  
子ども達が学校に戻り、一週間  
振りで学園は元の活気を取り戻  
しつつあります。これも皆様の  
支えとご協力のたまものと深く  
感謝申し上げます。一日も早く  
子ども達によりよい環境が与え  
られますよう、教職員が一丸と  
なつて最大限の努力をしており  
ます。(学園長 高橋)

## 篠田教会 ～三十年の使命を終えて～

篠田教会閉鎖にあたって

仙台教区長

司教 溝部 脩

ことの発端は、ラボア神父様が病気でカナダより帰国できな

いのではないかとの噂が伝わった時からでした。そして、実際に神父様から辞任の手紙を頂いた時に、これからどうするか

が早速実際問題として浮上してまいりました。まずケベック宣教

会の管区長様と最初の相談をしました。それから教区の司祭評

議会にかけて話し合いました。結論は青森県の全司祭とまず話

し合つて、よりよき知恵を頂くこと、それを基にして司祭評議

会の判断をすることにしました。その前に篠田教会の信者との対

話を持つことを決めました。そしてその順序に従つて行われ

ました。青森県の司祭たちは、青森本町教会に属するより他に

方法はないとの結論でした。司祭不在の教会を、特に冬の間に

けたままにしておくのは困難であるとの意見もありました。ま

た今の状況で小教区として維持するのは不可能だということ

でした。ただし、信者さんたちの気持ちを考えて、いつ廃止して

本町教会に合流するかは決めて頂く方が良くということでした。そこで、十月末の会合が篠田教

会でもたれました。そこで決められたことを報告しまし

ょう。篠田教会は小教区として廃止して、青森本町教会に属す

る。松ヶ丘教会は本町教会の巡回となる。

ただし、今まで培ってきた篠田教会の活動、交友は継続する

ものであり、それを廃止する必要はない。

統廃合の日は二〇〇一年十二月十六日とし、当日三〇周年の祝いも兼ねる。



建物や土地の今後は教区ケベック会と話し合つて決める。ラボア神父個人の所有物の処理はケベック会が行う。

初期の頃より働かれた神父様方、信者の皆様はこの紙面をお借りして感謝申し上げます。

今までしてくださったことの報いを、神様が豊かにしてくださいませよう。

舟越保武氏の死を悼む

司祭の家 深沢守三

アンジェリコ舟越保武氏のご逝去は、カトリック教会にとつても大きな悲しみであり、惜別の思いを禁じ得ない。氏は盛岡中学校時代、小生の三年先輩であり、亡兄豊治神父とは同学年であった。

かつて、三十年ほど前のことである。塩釜教会で、兄神父も交え、三人で歓談したことがあった。氏が話しておられた中から一つのことだけを紹介してみたい。氏は、中学生時代、足の

カリエスのため、足首にいつも包帯を巻き、不自由な歩き方をしておられたのである。しかしその時には、氏の歩行が全く正常だったので、不思議に思い尋

ねてみた。「イヤー全くそうなんですよ。実は長崎の二十六聖殉教者像（写真）を作っているときでした。突然足が治ったんです。私も驚いて、早速医者に診て貰ったんですが、医者は『この病

気は年を取ると、時として固まるといふこともあり得ますからネエ』と言っんですよ。しかしその頃私はまだ五十歳でしたからね。人がなんと云おうと、私は奇跡だと信じていますよ」と話して下さった。

長崎の二十六聖殉教者像の作者である氏の死が、同聖人達の祝日であったことを思い合わせ

る時、単なる偶然とは思えないのである。「原の城」「ダミアン

春の後藤寿庵大祈願祭

寿庵の遺徳をしのびつつ、今年

の豊作を願い、田畑で働く人々の上に神の祝福がありますように祈願したいと思ひます。

日時 二〇〇二年五月二六日  
（白）



ねてみた。

「イヤー全くそうなんですよ。実は長崎の二十六聖殉教者像（写真）を作っているときでした。突然足が治ったんです。私も驚いて、早速医者に診て貰ったんですが、医者は『この病

気は年を取ると、時として固まるといふこともあり得ますからネエ』と言っんですよ。しかしその頃私はまだ五十歳でしたからね。人がなんと云おうと、私は奇跡だと信じていますよ」と話して下さった。

長崎の二十六聖殉教者像の作者である氏の死が、同聖人達の祝日であったことを思い合わせ

る時、単なる偶然とは思えないのである。「原の城」「ダミアン

春の後藤寿庵大祈願祭

寿庵の遺徳をしのびつつ、今年

の豊作を願い、田畑で働く人々の上に神の祝福がありますように祈願したいと思ひます。

日時 二〇〇二年五月二六日  
（白）

### 文芸 短歌

河畔にて

（本杉教会） 成毛一雄

遠き日の冬の河畔の殉教を

じたえて蒼くもたす川あり

殉教のなかのひとり司祭にて

なんばん人とのみしるるるる

死にちかきいのちのおくえさやける 棄教のこえははなやぎに

充つ

いかばこのちの重さうけとめて

コトにこえる人もまほし

年

春の後藤寿庵大祈願祭

寿庵の遺徳をしのびつつ、今

年の豊作を願い、田畑で働く人々の上に神の祝福がありますように祈願したいと思ひます。

日時 二〇〇二年五月二六日  
（白）

## 活動紹介

JCN A(日本カトリック看護協会) 仙台支部

JCN Aは、国際カトリック医療従事者協議会(CICIA MS)に加盟し、キリストの福音の精神に基づいた活動をしています。

その活動は主に、機関誌の発行・研修会・黙想会、そして保健医療福祉に貢献する社会活動などです。しかし、会員は青森から福島と広く散らばっておりなかなか共同活動の機会がありません。また、会員数が少ない事(現在、仙台支部は二十数名)も悩みの種です。

## 私の気分転換

元寺小路教会 佐藤 真澄

気分転換・・・これといつてないのが実状。その気分次第でちょうど良い気分転換法を見つければ私である。しかし一つだけ確かなものは、気分転換できる楽しみが毎週ある。それは日曜学校である。現在、元寺小路教会の日曜学校のリーダーをしている私は、ミサ後に子供と一緒に過ごす時間が気分転換となる。日曜学校が終わった後も聖堂前の広場でも

そのような現状の中で、スperl

マン病院や特老施設に入院、入所されて居られる方々の癒しになればという願いを込めて、マリア祭などの行事を長年にわたって続けております。会の目的や活動についての詳細は後日改めて紹介させていただきますが、とりあえず、今回はJCN Aという会があることを知っていただけでも幸いです。

信者、医療従事者に関わらず会員を募集しております。  
代表者 支部長 織井 優貴子  
連絡先 Sr. リーズ・ラミ  
光ヶ丘スperlマン病院内

いきり遊ぶ。

遊ぶという簡単なように聞こえて意外に難しい・・・気分転換が必要なきときこそ何も考えずに遊びに専念することはさらに難しい。ただ言えることは、子供は純粹であり、そこから得る力は気分転換以上にすごい力を持つていて、私には毎日曜に子供から気分転換の方法を学び、一週間の動力を与えてもらっている。



シャルトル聖パウロ修道女会

泉 修道院

フランスのルヴェヴィルという小さな村に一九六六年に創立された修道女会で、以来三世紀の間、会員たちは世界各地で教育と福祉の仕事に従事してきました。

三人のフランス人修道女が来日したのは一八七八年。仙台では一八九三年、私立仙台女学校

## 修道院紹介

として設立認可を受け、女子の教育を開始。それから七十余年、学園関係者の期待と時代の要請にこたえてこの泉の地に短期大学が開設されたのは一九六六年、当初は家政科のみで後に英語科を増設。

新しい世紀を目前にした一九六六年には仙台白百合女子大学

人間学部が誕生しました。

現在短期大学と女子大学の昇華統合を目指して今年四月から一学部四学科(人間発達学科・総合福祉学科・健康栄養学科・国際教養学科)の新体制でスタートすることになりました。

「万人に万幸」となった聖パウロの心を心として創立者の精神に倣い、教育・福祉活動に励んでおります。

## 生命の泉

信徒宣教の必要性が叫ばれて久しい。しかしこれまでの信仰生活を送ってきた立場からすれば何をどうすればよいのか戸惑うばかりだ。それ

どころか原理主義の絡みで宗教そのものまで胡散臭い。去る一月十二日の読売新聞にイギリス・オックスフォードの生物学者R・ドーキンスのインタビュー記事が載っていた。彼は「人間以外の動物でも、同種間で殺し合うことがある。ただ、人間以外の動物は同種への攻撃に抑制的だ。しかし、それは、種全体の利益のためという理由からではない。相手の報復を招く非常に危険な行為だから抑制している」。ドーキンスの言う報復を恐れて抑制するのか、ローレンツが言う種を絶滅から救う天の配剤なのかは知らないが宗教を奉じて殺し合う現実を何と云うべきか。彼はまた言う「カトリックとプロテスタントが対立している北アイルランド問題も、神学的相違ではなく異なる集団であること自体が敵意を引き起こしている」と。敵意とは結局「相違」だと喝破する。違いを見分けるのは知識かも知れないが、違いを超えるのは叡智というべきか。宣教の方法には色々あるだろうが互いが相互に理解しようと努めること、信仰に生かされた品格以外にはない。(守)

(一頁のつづき) 最後ですが、過去の歴史を通して、過去に生きた人と現代の信仰者は、信仰においてつながるといふことを考えてみる事ができます。信仰にはつきりと殉じた人もいます。多分はつきりとはなくとも、それに殉じようとした人達も多くいたことでしょう。いずれもその時代の苦悩を背負って、しかも教えに殉じる生き方をしたので。数世紀を経ても、私たち信仰者は、現代の苦悩を背負いつつ、イエスというお方の生き方を受け止めて、それに殉じる選択をしているのです。過去の殉教を思う度に、現代に生きる私たちも教えに殉じる心を培う必要があります。二月は広瀬川の殉教を思い起こさせています。四旬節も始まりです。信仰の恵みを頂いたことを感謝しつつ、気をひきしめて四旬節を送るようによいと思います。

